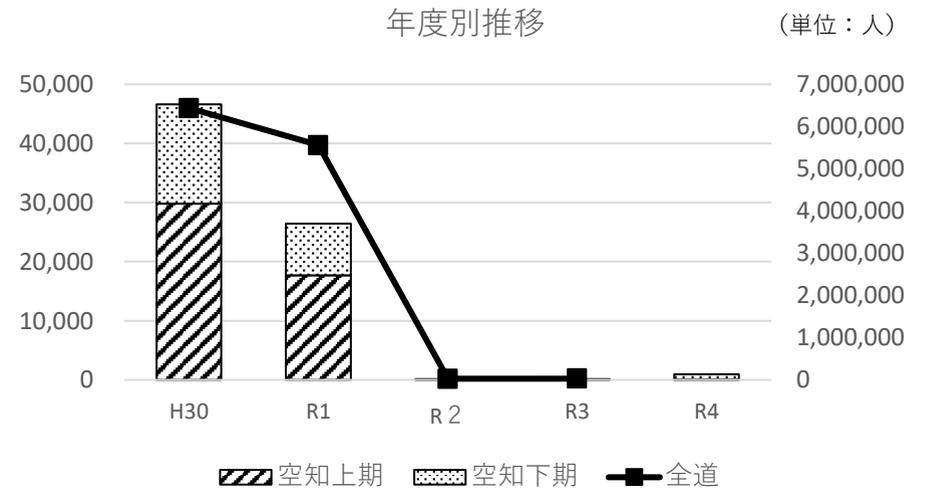


令和4年度（2022年度）空知管内における訪日外国人宿泊者数調査結果の概要

令和5年（2022年）7月21日
空知総合振興局産業振興部商工労働観光課

1. 概要

令和4年度（2022年度）の空知管内における訪日外国人宿泊者数（実数）は、955人となり、令和3年度（2022年度）の70人から、885人（1364.3%）の大幅な増加となった。



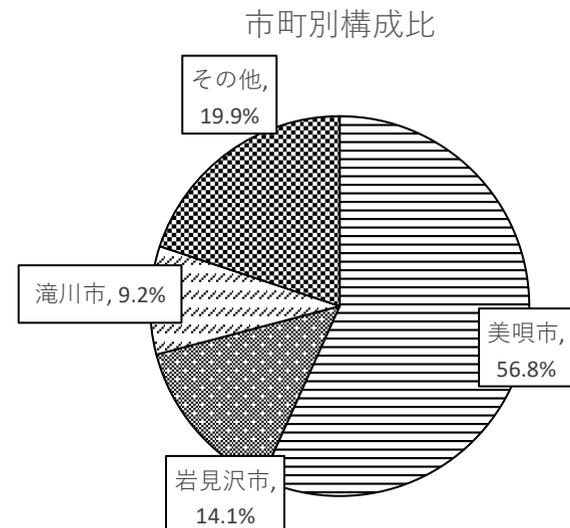
(単位：人)

	H30	R1	R2	R3	R4	対前年度増減	対前年度比
空知管内計	46,570	26,438	53	70	955	885	1364.3%
上期計	29,802	17,672	18	59	96	37	162.7%
下期計	16,768	8,766	35	11	859	848	7809.1%
全道シェア	0.72%	0.48%	0.19%	0.24%	—	—	—
全道計	6,435,854	5,557,154	27,478	29,523	—	—	—

※R4全道分は集計中

2. 市町別

管内24市町のうち、外国人が宿泊したのは計11市町となり、多い順に美唄市（542人）、岩見沢市（135人）、滝川市（88人）、三笠市（87人）、芦別市（31人）、秩父別町（28人）、深川市（15人）、月形町（11人）、砂川市（8人）、南幌町（7人）、新十津川町（3人）となった。



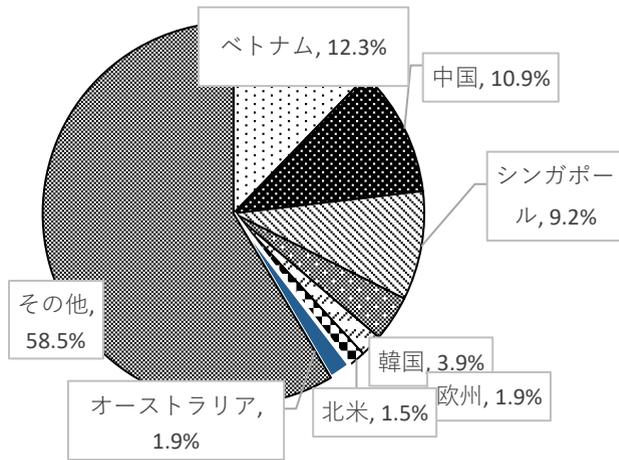
(単位：人)

		H30	R1	R2	R3	R4
管内計		46,570	26,438	53	70	955
上位3市町	1	夕張市 39,583	夕張市 20,615	滝川市 28	滝川市 55	美唄市 542
	2	栗山町 2,623	栗山町 1,556	岩見沢市 23	深川市 5	岩見沢市 135
	3	三笠市 1,179	三笠市 1,375	深川市 2	岩見沢市 4	滝川市 88

3. 国別

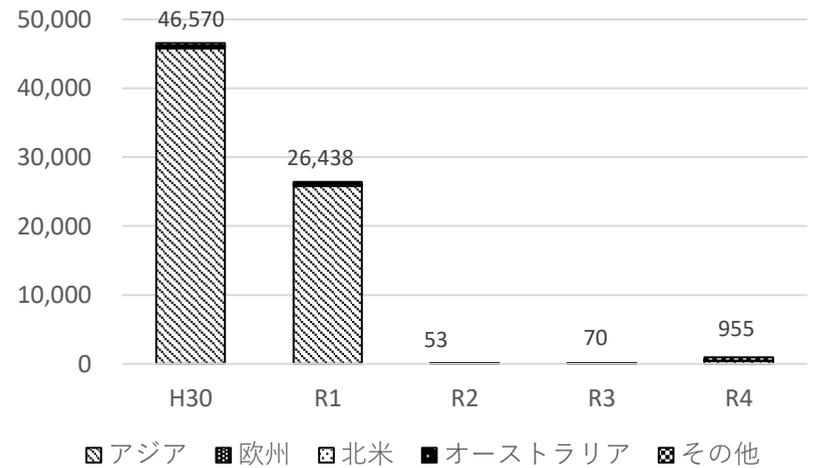
国別で見ると、ベトナムが117人で最多となり、次いで中国（104人）、シンガポール（88人）の順となった。全訪日外国人宿泊者数（955人）のうち、52.3%にあたる449人がアジアからの宿泊者であった。

国・地域別構成比



地域別推移

(単位：人)



(単位：人)

		H30		R1		R2		R3		R4	
管内計		46,570		26,438		53		70		955	
アジア計		45,795		25,798		42		55		449	
上位5か国	1	台湾	24,639	台湾	11,111	ベトナム	13	インドネシア	24	ベトナム	117
	2	中国	7,999	中国	7,025	韓国	8	ベトナム	18	中国	104
	3	韓国	5,690	韓国	2,842	中国	5	中国	12	シンガポール	88
	4	マレーシア	3,564	香港	1,608	香港	4	韓国	1	韓国	37
	5	タイ	1,723	マレーシア	1,564	フィリピン	4	—	—	香港	35
	その他	2,180		1,648		8		0		68	
欧州		94		82		6		5		18	
北米		205		140		3		2		14	
オーストラリア		82		74		2		0		18	
その他		394		344		0		8		456	

4. 月別

月別で見ると、12月が550人と最多となり、10月、1月74人と続いた。結果として第3四半期（10～12月）に訪日外国人が集中した。

月別推移

(単位：人)

